

FIKA

Grind & Drip Coffee

récolte®

ウィナーズ株式会社

récolte®

FIKA

Grind & Drip Coffee

レコルト
グラインド&ドリップコーヒーメーカー
フィーカ
RGD-1



取扱説明書

この度はレコルト グラインド&ドリップコーヒーメーカー フィーカをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

INDEX

安全上のご注意・警告	1-3
注意／お願い	3-5
各部の名称／はじめてご使用になる前に	6
各部品のはずしかた・取り付けかた	7
ご使用方法	8-10
お手入れのしかた	11-12
仕様	13
無料修理規定／保証書	14

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター

TEL.03-6662-7100

【受付時間】
10時～12時／13時～17時(土日祝日を除く)

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 この表示は、注意を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

 **◆子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。**
やけど、感電、けがをすることがあります。

◆電源コードは破損したまま使用しない。電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

◆電源プラグにピンやゴミを付着させない。
感電・ショート・火災・発火の原因になります。

◆電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災・発火の原因になります。

◆この取扱説明書に記載のない目的・方法で使用しない。
けがや事故の原因になります。

◆ガラスポット、フィルターホルダー、フタをセットせず使用しない。
やけどをすることがあります。

 **◆蒸気や蒸気口、保温プレートに触ったり、顔などを近づけない。**
やけどをすることがあります。

接触禁止

 分解禁止

◆改造はしない。また、修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因となります。修理は買い上げの販売店または、カスタマーセンターにご相談ください。

 ぬれ手禁止

◆ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作したりしない。
感電やけがをすることがあります。

 水ぬれ禁止

◆本体を水につけたり、水をかけたりしない。
感電・ショート・故障のおそれがあります。

 必ず行う

◆製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。
製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

〈異常・故障例〉

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している。
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする。
- ・本体が作動しない。

など
上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、買い上げの販売店または当社カスタマーセンターに点検・修理を依頼してください。

◆電源プラグの刃(金属部)および刃の取り付け面に付着したほこりは拭き取る。
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。

 必ず守る

◆定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常過熱して、発火することがあります。

◆電源プラグは、交流100Vで「15A125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む。
火災・感電の原因になります。

◆電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

◆電源の切り忘れをしない。
やけど・火災・故障のおそれがあります。



必ず守る

- ◆乳幼児が電源プラグを誤ってなめないように注意する。
感電やけがの原因になります。



電源プラグを抜く

- ◆使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化により感電・漏電・火災の原因となります。
- ◆電源プラグを抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火することがあります。

⚠ 注意



禁止

- ◆不安定な場所や熱に弱いテーブル、敷物などの上では使用しない。
火災やテーブル、敷物の変色・変形の原因になります。
- ◆壁や家具の近くで使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形、火災の原因となります。キッチン用収納棚などで使うときは、中に蒸気がこもらないように注意してください。
- ◆ドリップ(抽出)中にガラスポットをはずさない。
やけどの原因となります。
- ◆ガラスポットを載せたまま本体を動かさない。
やけどやけがの原因になります。
- ◆抽出中や抽出直後、すぐにウォータータンクに水を入れない。
やけどの原因になります。
- ◆保温プレートの上に電源コードを載せない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- ◆動作中は移動させない。
やけどやけがの原因になります。
- ◆ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わない。
故障・破損の原因になります。



必ず守る

- ◆動作していない事を確認してから電源プラグを抜差する。
感電・ショート・火災・発火の原因になります。



接触禁止

- ◆抽出中や抽出直後は散水口・パーマネントフィルター・フィルターホルダー・保温プレートなどの高温部に触れない。
やけどのおそれがあります。



必ず行う

- ◆お手入れや移動・収納は本体が十分に冷えてから行う。
高温部に触れると、やけどの原因となります。

お願い

- ◆タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。
- ◆落したり、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。
破損や故障の原因となります。
- ◆火気の近くでは使用しないでください。
変形や故障のおそれがあります。
- ◆専用のガラスポット以外は使用しないでください。
コーヒーがあふれて、やけどや故障するおそれがあります。また、テーブルや敷物を汚す原因になります。
- ◆ガラスポットを落したり、かたいものにぶつけたりしないでください。
ガラスが割れて、けがの原因になります。
- ◆ガラスポットが空の状態のまま保温しない。また、水などにつけて急冷しないでください。
ガラスポットが破損しやすくなります。万が一割れた場合は、破片を取り除くときにけがをしないように十分に注意してください。
- ◆ガラスポットを直火にかけたり、電子レンジで使用したりしないでください。
ガラスが割れたり、取っ手が変形したり、金属部から火花が飛び散るなどの原因になります。
- ◆ガラスポットを冷蔵庫や冷凍庫に入れないでください。
ガラスが破損して、けがの原因になります。
- ◆続けてコーヒーをドリップする場合は、電源スイッチをOFFにし、5分間やすませた後で再びドリップしてください。
本体が熱いうちにウォータータンクに水を入れたり、本体を動かしたりすると、蒸気や熱湯が噴出してやけどの原因になります。パーマネントフィルター、フィルターホルダー、ミルは使用のたびに洗浄し、乾いた布で水分を拭き取り十分に乾燥させてください。

◆ミネラルウォーターを使用した場合は、お手入れをこまめにしてください。

本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分が剥がれて本体内部のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因になります。

◆キズやひび割れが発生したガラスポットは使用しないでください。

やけどやけがの原因となります。

◆ウォータータンクに水を入れずにドリップしないでください。

故障の原因となります。

◆ウォータータンクに水を入れたまま長期間放置しないでください。

においの発生、変形や故障の原因となります。

◆ウォータータンクに水以外(湯・牛乳・アルカリイオン水など)のものを入れないでください。

ふきこぼれや感電のおそれがあります。

◆本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水分を入れしないでください。

ショートや感電のおそれがあります。

◆業務用として使用しないでください。

この製品は一般家庭用に設計されています。変形や故障の原因となります。

各部の名称



はじめてご使用になる前に

■部品の洗浄

付属品や取り外しが可能な部品を洗浄して、良く乾燥させてください。

■湯通し:内部の洗浄

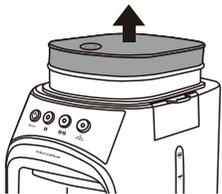
以下の①-⑥の使用手順を参照しながら、コーヒー粉(豆)を使わずに以下の手順で湯通しをして、内部の洗浄を行ってください。

- ・ウォータータンクに水を入れます(MAXの位置まで)。
- ・パーマネントフィルター、フィルターホルダー、ミルを本体にセットします。
- ・フタを閉じ、ガラスポットを保温プレートに載せます。
- ・コンセントに電源プラグを差し、電源スイッチをONにし、粉モードボタンを押します。
- ・お湯のみでドリップをします。ガラスポットのお湯を捨てながら2~3回ドリップを繰り返します。

各部品のはずしかた・取り付けかた

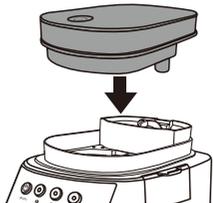
■フタのはずしかた

真上に持ち上げます。



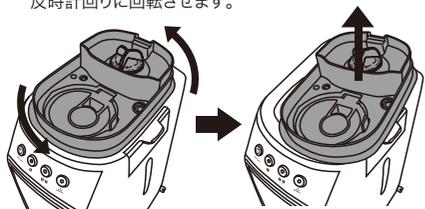
■フタの取り付けかた

蒸気口を手前にして真下にはめ込みます。



■フィルターホルダーのはずしかた

フタをはずした状態で、フィルターホルダーを反時計回りに回転させます。



真上に持ち上げます

※本体フタを外さないとフィルターホルダーは外せません。

■フィルターホルダーの取り付けかた

はずしかたと逆の手順で行います。

※フィルターホルダーはカチッと音がするまで回し、しっかりと取りつけてください。フィルターホルダーが確実に取り付けられていないと、フタがはまりません。

■フィルターのはずしかた

パーマネントフィルターの持ち手をつかみ、真上に持ち上げます。



■フィルターの取り付けかた

パーマネントフィルターの持ち手が右側になるようにして、フィルターホルダーのくぼみにあわせてはめ込みます。

■ミルのはずしかた

ミルを「UNLOCK」と書いてある方向(反時計回り)に回します。



■ミルの取り付けかた

ミルを「LOCK」と書いてある方向(時計回り)に回します。

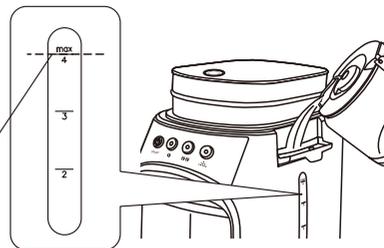


ご使用方法

1 ウォータータンクに水を注ぐ

- ウォータータンクのフタを開けて必要なカップ数の水を入れます。
- ウォーターインジケーター(水量目盛り)の「4(MAX)」を超える量の水を注がないでください。

最大水量



2 パーマネントフィルター、フィルターホルダー、ミルをセットする

※取り付けかたはP7の「各部品のはずしかた・取り付けかた」をご参照ください。

3 作りたいカップ数のコーヒー豆・コーヒー粉を入れる

⚠ 紙フィルターはご使用にならないでください。

■コーヒー豆で入れる場合

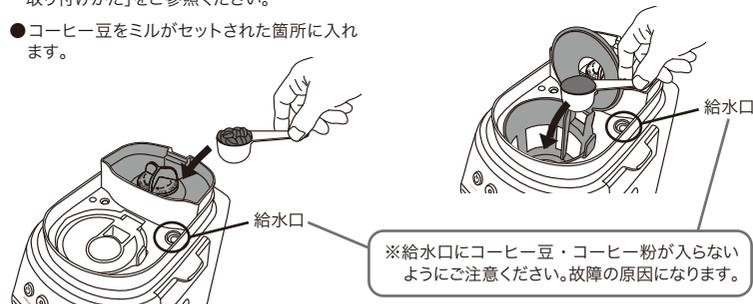
- ミルをセットし、しっかりとLOCKの方向にまわします。

※取り付けかたはP7の「各部品のはずしかた・取り付けかた」をご参照ください。

- コーヒー豆をミルがセットされた箇所に入れます。

■コーヒー粉で入れる場合

- パーマネントフィルターのフタを開け、計量スプーンを使ってコーヒー粉を入れ、コーヒー粉全体を平らにならしてフタを閉じてください。



●コーヒー豆・コーヒー粉の目安

カップ数	1カップ	2カップ	3カップ	4カップ
水の量	140ml	280ml	420ml	560ml
計量スプーン	4杯	5杯	6杯	8杯
コーヒーの量	約16g	約20g	約24g	約32g

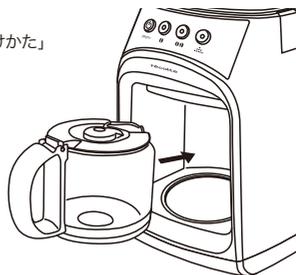
- ・コーヒー粉は中挽き～細挽きにしてください。
- ・コーヒーの種類や量は好みで調整してください。できあがりの味や濃さなどが変わります。
- ・コーヒー粉の入れ過ぎにご注意ください。シャワーに付着して詰まりの原因になります。
- ・コーヒー豆は40g以上入れないでください。ミルにコーヒー豆が残りがやすくなります。

4 本体フタを取り付ける

※取り付けかたはP7の「各部品のはずしかた・取り付けかた」をご参照ください。

5 ガラスポットをセットする

- フタがしっかりと閉じられているのを確認し、ガラスポットを保温プレートの上にセットしてください。



6 ドリップする

- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源ボタンが2回点滅して消えます。
- 電源スイッチをONにします。電源スイッチが点滅します。
- セットしたコーヒー豆またはコーヒー粉に適したモードのボタンを押します。

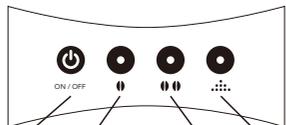


⚠ 注意

電源は電源コンセントから取るようにしてください。

⚠ 注意

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。ショート、感電のおそれがあります。



電源ボタン (1~2杯) 豆モード (3~4杯) 粉モード

操作パネルの表示

	電源を入れる、電源を切る
	豆モード(コーヒー豆からドリップする場合) 1~2 カップ
	豆モード(コーヒー豆からドリップする場合) 3~4 カップ
	粉モード(コーヒー粉からドリップする場合)

- モードボタンを押すとすぐに動作がはじまります。
 - ◇豆モード→ミルがコーヒー豆を挽き、そのままドリップの工程に入ります。
 - ◇粉モード→ドリップの工程からスタートします。抽出口からコーヒーがガラスポットにドリップされます。※ドリップの途中、お湯の注入が一時的に停止し、蒸らしの工程が入ります。
- ドリップが終了したら、モードランプが消えます。ガラスポットを保温プレートから外し、コーヒーカップ等に注いでください。ガラスポットが空になったら、電源スイッチをOFFにしてください。
- 何らかの理由でドリップの途中で電源をOFFにしたい場合は、再度電源ボタンを押してください。電源がOFFになり、ドリップがストップします。

⚠ 注意

ドリップ(抽出)中は、本体が非常に熱くなります。ドリップ中は絶対に本体に触れないでください。やけどやけがの原因になります。

⚠ 注意

動作中にフタを開けないでください。故障の原因になります。

⚠ 注意

ドリップ中やドリップ直後すぐに、ウォータータンクに水を入れしないでください。本体・ヒーターが非常に熱くなっているため、熱湯や蒸気が出て、やけどの原因になります。

⚠ 注意

コーヒー豆の種類や使用量によって粉砕できないまま残ることがあります。



電源スイッチの切り忘れにご注意ください!
故障の原因になります。

7 保温する

ドリップが終了したら、そのまま保温します。

- 電源スイッチをONにした後、約40分後に自動で電源がOFFになり、保温が終わります。
- 保温を止める際は、電源スイッチを押して電源を切ってください。
- ◇長い時間保温すると煮詰まって、コーヒーの「香り」「風味」が損なわれます。コーヒーはできるだけドリップしたての風味があるうちに召し上がってください。
- ◇ガラスポットが空になったら、必ず電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたまま放置しないでください。

⚠ 注意

フタを開けると電源がOFFになり、保温が停止します。フタは本体が十分に冷めてからはずしてください。



電源スイッチの切り忘れにご注意ください!
故障の原因になります。



ウォータータンクに水を入れたあと、使用を中止する場合は、本体をさかさまにして水を抜かないでください。本体内部に水が入り、故障の原因となります。ウォータータンクの水抜きのかたは下記を参照してください。

- フィルターホルダーを本体にセットして、本体フタを閉めます。
- ガラスポットをセットしたら、本体電源を入れ、粉モードボタンを押します。
※コーヒー豆・コーヒー粉はセットしないでください。
- ウォータータンクの水がなくなったら、電源スイッチをOFFにします。

8 あとかたづけ

ご使用后、本体が十分に冷めてからフタをはずし、フィルターホルダー、パーマメントフィルター、ミルを取り外します。

⚠ 注意

ドリップ済みのコーヒー豆・コーヒー粉はフィルター、フィルターホルダー内に放置せず、早めにお手入れしてください。そのまま放置すると、カビや雑菌が発生する原因になります。

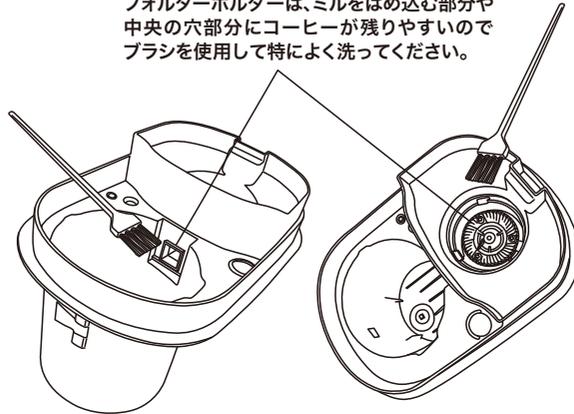
お手入れのしかた

お手入れは必ず本体が十分に冷めてから、電源プラグを抜いた状態で行ってください。

■付属品・部品

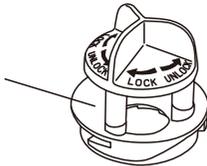
付属品・部品は全て水洗いが可能です。食器用洗剤を薄めた水やぬるま湯で、付属のブラシややわらかいスポンジなどを使って洗ってください。水でよくすすぎ、乾いた布で水分を拭き取り十分に乾燥させてください。

フィルターホルダーは、ミルをはめ込む部分や中央の穴部分にコーヒーが残りやすいのでブラシを使用して特によく洗ってください。



⚠ フィルターホルダーのつけおき洗いはおやめください。

ミルの隙間もコーヒーが残らないようよく洗ってください



⚠ ミルの刃部分には直接手を触れないでください。

■本体

食器用洗剤を薄めた水やぬるま湯にやわらかい布などを浸し、固く絞った布で拭いてください。仕上げに水に浸したやわらかい布を固く絞り、洗剤分を十分に拭き取ってください。

■内部の洗浄

水アカなどでお湯の出方が悪くなったときなどは、水アカ取りを行います。

まず、水とクエン酸が3:1の割合になるようにクエン酸水溶液をつくり、コーヒー粉を入れずに通常の手順で2カップ分ドリップを行ってください。汚れの程度に応じて繰り返し、最後に水だけで同じようにドリップし、すすぎます。必ず、本体が冷めるまで間隔を空けて作業を行ってください。

⚠ ウォータータンクに水を入れてすすぎ洗いや振り洗いなどをしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。ウォータータンク内の汚れが気になる場合は、上記の内部の洗浄(クエン酸洗浄)をおこなってください。

仕様

品番	RGD-1
種類	ドリップ式(水容器一体型)
保温装置の有無	有
電源	交流100V 50/60Hz
消費電力	コーヒーメーカー/600W ミル/120W
定格時間	ミル/70秒
外径寸法	約幅17.5×奥行28.0×高さ29.5cm
重量	約2.5kg
コードの長さ	約1m
最大容量	560ml(コーヒーカップ4杯分)
材質	本体/PP、ステンレス ガラスポット/PP、ガラス
付属品	計量スプーン 掃除ブラシ

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理又は交換をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、製品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。ただし消耗品・付属品は除く。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご連絡ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにできない場合には、カスタマーセンターへご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ヘ) 本書の添付がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (チ) 持込修理の対象製品を直接カスタマーセンターへ送付した場合の送料等はお客様のご負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様のご負担となります。
- 本書は日本国内での使用においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

●消耗品・付属品は保証の対象外です。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

récolte® レコルト グラインド&ドリップコーヒーメーカー フィーカ 保証書 持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合には本書上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票上記に記載しております。

保証期間	お買い上げ日より	本体1年間	お買い上げ日	年	月	日
お客様	ご住所 〒	—	販売店			
			住所・店名			
お名前		様				
電話 ()		—	電話 ()			—

ウィナーズ株式会社

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター TEL.03-6662-7100 受付時間 10時～12時/13時～17時(土日祝日を除く)

This product is for use inside Japan only. Do not use outside Japan.

This warranty is valid only in Japan.